

シラバス参照

科目名	農業経済論 I
配当年次	3年次
開講期間	春学期
単位数	2
担当教員	望陀 美美子(モウダ フミコ)
期間・曜日・時限・教室	春学期 水曜日 1時限 23-401

※	
授業の目的・目標	<p>①授業の概要: 農業経済学の基礎的な理論を理解することにより、現実の経済問題を考え、分析する力を付けます。本科目は一部オンライン(オンデマンド)を併用し、授業を実施します。オンライン(オンデマンド)授業の「授業回」および「実施方法」は初回授業時にアナウンスします。</p> <p>②授業の目的: 本講義は、生産、流通、消費の三局面から構成され、これら三局面を通して「食と農」について基本的に理解することが求められます。それと同時に国際的視点からの分析を含めて講義が行われるうえ、グローバルな観点からの理解も求められています。よって、農業経済学の基本的な理論や既存の農業・食料政策の成り立ちと仕組みを理解することを目的としています。</p> <p>③修得できる力: 2023年度入学生: DP1○、DP2△、DP3◎ 2024年度入学生: DP1○、DP2△、DP3◎ ※DPの記号は、入学年度のカリキュラム・マップで確認してください。 ※カリキュラム・マップは、JUnaviのログイン画面で確認できます。</p> <p>④授業の到達目標: 農業経済学を応用し最近の経済社会問題を理解できるようになることを目標としています。 以上に加えて、上記②であげた多様な能力、素養を身につけることが、本授業の到達目標です。</p> <p>⑤実務経験と授業内容との関連: なし</p>
準備学習等の指示	<p>①1回の授業について、 ・予習(1時間45分): 授業で取り上げる参考書などにより、授業の大まかな流れをつかんでおくこと。次回対象となる項目については各授業の終了時に説明します。 ・復習(1時間45分): 授業で取り上げた重要なポイントを中心に、レジュメやノートを見直し論点を整理すること。次回授業時に適宜内容を確認し、フィードバックを行います。</p> <p>②課題の配布や提出を行うため、WebClass等のLMSを用います。</p> <p>③グループでのディスカッションを実施することもあるため、遅刻・欠席はしないように努めてください。</p> <p>④アクティビティ後のふりかえりや、関連課題は、必ず期限を守って提出してください。</p> <p>⑤日頃から新聞に目を通すことと同時に、様々な情報端末に触れるよう心掛けてください。</p>
講義スケジュール	<p>■1回目 【テーマ】はじめに、「食」と「農」とは何か 【到達目標】「食」と「農」とは何かについて理解を深めることができる。 【準備学習】シラバスおよび講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面で授業を実施します。</p> <p>■2回目 【テーマ】食生活の現状 【到達目標】食料経済で使用する統計資料、食料供給の現状、海外との比較について理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■3回目 【テーマ】食品流通業1-卸売市場の役割 【到達目標】卸売市場の役割、流通経費、各市場(青果物、水産物、食肉)について理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■4回目 【テーマ】食品流通業2-市場価格(価格変動) 【到達目標】市場価格(価格変動)、市場外流通の増加、小売市場における競争メカニズム、商品特性について理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■5回目 【テーマ】食料経済の基礎理論1-食品の需給システム 【到達目標】食品の需給システムについて理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p>

	<p>■6回目 【テーマ】食料経済の基礎理論2－食料需給に影響を与える他の要因 【到達目標】食料需給に影響を与える他の要因、生鮮食品の価格変動について理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■7回目 【テーマ】食料経済の基礎理論3－不安定な農産物価格 【到達目標】不安定な農産物価格について理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■8回目 【テーマ】食料経済の基礎理論4－農産物価格の安定政策 【到達目標】農産物価格の安定政策について理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■9回目 【テーマ】食料経済の基礎理論5－政府による市場介入 【到達目標】政府による市場介入について理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■10回目 【テーマ】食の安全性 【到達目標】食の安全性とは、食の安心システムについて理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■11回目 【テーマ】食品ロス 【到達目標】食品ロス、廃棄食材、規格外食材、食品ロスの活用例について理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■12回目 【テーマ】食料経済の基礎理論6－弾力性詳細とエンゲルの法則 【到達目標】弾力性の詳細とエンゲルの法則について理解を深めることができる。 【準備学習】講義レジュメを熟読し、該当箇所について調べる。 【特記事項】対面またはオンライン(オンデマンド)で授業を実施します。</p> <p>■13回目 【テーマ】まとめ 【到達目標】農業経済論Ⅰの内容を理解し、整理することができる。 【準備学習】講義レジュメの該当箇所について調べ、農業経済論Ⅰの内容について振り返る。 【特記事項】対面で授業を実施します。</p>
教科書	教科書は指定せず、各授業回の2日前までに講義レジュメをWebClassで配布予定です。 必ず手元に準備し、授業に臨んでください。 ※WebClass利用方法は初回授業時にアナウンスします。
参考文献	半谷俊彦・山田久・大久保研治・柴田有祐・清水雅貴・葉山幸嗣・望陀美美子(2014)『これだけはおさえたい経済学: 学びのガイダンス (Primary 大学テキスト)』、実教出版。
授業の方法	<p>この講義は主として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・演習</li> </ul> <p>形式で行い、一部オンライン(オンデマンド)を併用し、授業を実施します。オンライン(オンデマンド)授業の「授業回」および「実施方法」は初回授業時にアナウンスします。</p> <p>授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問答法(学生の意見や小テストの結果、アイデア、学習理解状況を聞いて、それを基に授業を進めていく)</li> <li>・学生の回答などのフィードバックが授業の構成要素に入っている</li> <li>・学生への発問及びその回答が授業の構成要素に入っている</li> <li>・PBL</li> <li>・反転授業</li> <li>・ディスカッション・ディベート</li> <li>・ICTを利用した授業内レスポンスの活用(クリッカー等)</li> <li>・グループワーク</li> </ul> <p>【フィードバック方法】なお、小テスト・課題等については、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数回ごとに全体(グループ)にフィードバックを実施する</li> </ul> <p>学生のオンラインなどを含めた学修をサポートするため、下記のLMSを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WebClass</li> </ul>
成績評価方法	<p>※学則にしたがい、授業時数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象となりません。</p> <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①筆記試験</li> <li>②課題</li> <li>③授業貢献度・参加態度</li> <li>④各種検定の取得・受験状況(授業開講期間に限る)</li> </ol> <p>※各種検定:食生活アドバイザー3級または2級、「経済学検定試験(EREミクロ・マクロ)」、「eco検定(環境社会検定試験)®」、MOS検定(Word、Excel、PowerPoint)、TOEICスコアアップ。</p> <p>【評価割合】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①70%、②20%、③10%、④+α加点対象。</li> </ol> <p>【評価基準】</p> <p>すべての課題が提出されることを最低基準として、「授業の到達目標」の達成度に応じた評価を行います。</p>

オフィスアワー	月曜日・水曜日の昼休み
居室	望陀研究室(23号館 4階 430号室)
ホームページ	
その他特記事項	
添付ファイル	